



一歩前へ



糸魚川市立下早川小学校 標高 92m 児童数 74 名 平成 30 年 11 月 10 日発行 第 1004 号

URL <http://www.tukimizu.itoigawa.ed.jp/> または 下早川小学校 で検索 (カラー版でご覧いただけます。)

児童の安全な登下校を見守る「安全サポーター」を募集します

小学校の文化祭では、多くの地域・保護者の皆様から参観いただきありがとうございました。保護者の皆様にはアンケートにご協力いただきました。温かいメッセージをお寄せいただき感謝いたします。

さて、今回の「一歩前へ」では、児童の登下校の安全確保に向けた取組について、お知らせいたします。これまで保護者アンケートを取ったり、PTA、学校評議員会、後援会とも話し合ったりして、下早川小学校にはどのような安全確保の形がふさわしいのか、検討を進めてまいりました。諸会合を通してこれまで出された主な意見を紹介します。

<地域から>

○これまでは、登下校の交通安全に対する意識から見守りを行ってきたが、台風・降雪・不審者・野生動物の出没などがあり、それらの問題に対応できる防犯体制づくりが必要である。

○高齢化が進み、「民生児童委員」や「後援会」等の団体に、児童の安全確保の活動をお願いするには無理がある。

○各地区の区長はじめ各地区の役員は、勤務や地区にかかわる仕事があり、登下校の見守りには必ずしも対応できない人が多い。しかし、役職にとらわれずできる人もいるのではないかな。

○児童の安全確保については、PTAが中心になり、地域に働きかけるとよいのではないかな。

<PTAから>

○地区によって(バス通学や地区で児童一人通学等)状況が異なり、一律の防犯体制づくりは難しい。

○安全に通学させるには、親の責任が重要。何かあってからでは遅い。

○親は仕事に忙しいので、地域の人に見守りしていただければ、大変ありがたい。

○不審者等、安全確保に問題が出たときは、その情報を提供してもらえれば、できることをしたい。

学校としては、以上のようなご意見を踏まえ、次のような方法でご協力いただけないか考えています。

- (1) 保護者・祖父母・地域の皆さんに広く呼びかけ、「安全サポーター」となっていただきます。
- (2) 「安全サポーター」にご登録いただいた方から集まっていただき、各地区の実態に合った見守りの方法について話し合っていただき、無理のないように実践していただきます。
- (3) 可能な方はメールアドレスを登録していただき、安全にかかわる情報の共有を図ります。
- (4) 悪天候や不審者・動物の出没などについて、サポーターの皆さんにお知らせし、サポートしていただきたい内容についてお伝えします。
- (5) 年に1～2回集まっていただき、問題点を話し合い、改善につなげます。
- (6) 数年かけて「安全サポーター」の取組や組織をより現状にあったものにしていきます。
- (7) PTAの「生活部」の活動として、この取組にどのような形で協力できるか検討中です。
- (8) 任期は1年とし、毎年更新の有無を確認させていただきます。

「安全サポーター」の組織を作ることで、児童の安全確保はもちろん、地域全体の安全意識が高まることが期待されます。このような組織を作ることについて、ご意見があればお聞かせください。地域の皆様から広くご理解いただき、運営にご協力いただけますようお願いいたします。

私は下早川小「安全サポーター」に登録します。

氏 名	
住 所	糸魚川市
電 話 番 号	家・携帯 どちらか連絡のつきやすい番号を
児童との関係	(児童名) の親 の祖父母 地区住民 いずれかに○を

このままFAXされる方は 555-4516 (下早川小) へお願いします。

回覧でご覧になっている方は、お電話をください。555-2107 (下早川小) 教頭までお願いします。

下早川公民館 70 周年記念文化祭で4年生児童が発表しました



10月28日(日)4年生は全員で下早川公民館のステージに立ち、これまで月不見の池について学習したことをカーブ発表しました。池の水量確保と水質向上のために、
○池にしいた防水シートをはすす。
○コンクリートで固めた川底に穴をあける。
○牛池や細池の水を入れる。
などの提案をした児童に、地域の人たちから「子どもたちの発想は大人と違う。しかし考えてみる価値がある。」などのご意見をいただきました。

このあとフォッサマグナミュージアムの小河原学芸員から「日本誕生と月不見の池」という題で講演がありました。児童らの発表と重なる部分があり、興味深くお聞きしました。発表を聞いてくださった方、児童の送迎でご協力いただきました方々に御礼申し上げます。

ふるさとクラブ活動感謝の会を行いました 11月8日(木)



料理クラブ 関本洋子様
園田道子様 片山順子様
猪股育子様 横井春美様
松木成子様



手芸クラブ 加藤久美子様
佐藤 範子様



水彩画クラブ 清水心澄様



書道クラブ 樋口ミキコ様

今後につながる楽しい活動を工夫していただき、ありがとうございました。

10月の秀句・・・講師をお招きしての句会で、よい句がたくさんできました。

あかとんぼ にひきならんで なかよしだ (1年佐藤りさ) わたとばし ふわふわとんで きえてった (1年高崎ほのか)
ツクサは 青く青くと 光ってた (2年 川合娃乃) わたのみは ヤギといっしょの 白い色 (2年 渡邊莉央)
合体だ クルミが二つ いい音だ (3年 青代 駿) 見てみたい どんな花かな くずの花 (3年 内田 光)
秋はじめ 空に広がる 紅葉だ (4年 五十嵐柑那) あなまどい 早い者勝ち 死か生きか (4年 原 彪雅)
いつの間に とんぼのトンネル くぐってる (5年山本大吾) かり後の 田んぼを見に来た 赤とんぼ (5年五十嵐一帆)
見上げると とんぼの家族 旅に出る (6年 原幸穂) おおばこで ひっぱりあいの 下校道 (6年 吉原ほのか)
＊あなまどい・・・小さな生き物が冬にすみかとする穴を探している様子を表す秋の季語